

発展科目「中国語入門」 ～言葉を通してアジアを見る～

ノートルダム清心学園 清心女子高等学校
教頭 森 雅子

清心女子高等学校の「発展科目」、講座「中国語入門」がアジアを通して世界を見る。は平成二十七年年度で開講十七年目を迎えます。「発展科目」は21世紀に向けて特色ある教育を実施するために本校が立ち上げたプロジェクトチームから生まれ、分野や教科を横断した内容と、協働学習やプレゼンテーションなど今日のアクティヴ・ラーニングを取り入れた学校設定科目です。高校二年生が複数の講座から自らの興味・関心に応じて選択履修するもので、平成十五年度からは本校の「総合的な学習の時間」として位置づけられています。二十七年年度の開講講座は「Women's Studies」「高大連携 知って役立つ医療福祉」「奉仕」とともに生やる「High School Musical」「高大連携 ハイレベル英語」「数理科学課題研究」「物質科学課題研究」そして「中国語入門」です。さまざまな講座が何年か入れ替わる中、女子校として特色のある「Women's Studies」とアジアに視点をおいた「中国語入門」は十七年間継続して実施されています。今年度の受講生は高二生二十名と高三のノートルダム清心女子大学特別進学クラスのな

かから十名、合わせて三十名となり、二人の教員で担当することになりました。

「中国語入門」は、将来にわたって日本がアジアの一員としてアジアの国々と共に平和に歩んでいくためには、若い世代の人々が隣国中国や、その他のアジアの国々を理解し、親しみを持つことが大切であり、従来の「歴史」や「地理」からだけでなく、「言葉」を通して高等学校時代に学ぶ意義が深いと考え開設しました。当時はまだ、グローバルという言葉は今日のように使われてはいませんでしたが、将来のグローバル人材に必要なアジアの言葉を学ぶ機会が日本の高校生にはほとんどなかったことに着目したのです。そして、講座の具体的な柱を「中国語の発音の基礎と簡単な会話文の習得」と「中国を中心とするアジアの歴史や社会・文化の理解」の二本に置き、言葉の学習と異文化理解をめざしました。

「言葉」の学び方に関しては、説明の時間をなるべく短くして他者の前の発表やグループ単位で創造的に取り組める活動を取り入れていま

すことができず。

週二時間、年間二単位の授業のほかに、放課後の活動として、中国語弁論大会への参加や中国映画の鑑賞、神戸南京町神戸華僑博物館見学など、年度によりさまざまな取り組みをおこなってきました。中国語検定試験への挑戦では学習開始後半年で準四級に取り組み、二十六年度は四名が合格しました。また、受講生の中から岡山県日中教育交流協議会の「STUDENT EXCHANGE」大連に二年連続で参加させていただきました。国際教養大学へ進学した卒業生は、さらなる中国語の上達をめざして天津の南開大学の研修に参

加し、高校三年生の一名は大連外国語大学への進学を目標に中国語の学習を継続しています。日本の高校教育は現在、大きな変革を迫られています。長く続いた大学入試センター試験にかわり、新しい大学入試の方法を実施することが決定されています。具体的な内容はまだまだこれからの十分な検討が待たれていますが、21世紀型スキルと呼ばれる教養、学際的・分野横断的な思考力、問題解決力、リーダーシップ、チームワーク力、コミュニケーション力、コラボレーション力などが求められることとなるでしょう。これらは、現在日本がその養成を急務としてスパーグローバル大学やスパーグローバルハイスクールを指定して取り組むグローバル人材に求められる力の基盤ともなるものです。このような時代の要請をうけて、清心女子高等学校の「中国語入門」の講座も刷新することが求められています。具体的には「アジア研究のレポート」を「課題研究」にまで深めていくことをめざしています。主に個人学習であったレポート作成を、テーマに即した史資料を収集することから始め、グループでの

討論を主軸として個人学習、グループ学習、全体学習を組み合わせ、より協働的で思考力の深まるものとしていきたいと考えます。

「中国語入門」講座が実施されてきた十七年の間には日中の関係は良いときもまた悪いときもありました。そして、今までになく多くの中国人が日本を訪れるようになった現在も両国間には厳しい課題があります。しかし、どのように世界がグローバル化しようとも日中は「一衣帯水」の深いかわりがあり、若い世代がお互いを理解し、尊重する態度を身につけることこそが平和で持続可能な世界を築くために大切なことです。自分自身が歴史を学ぶ基本を教えられた「前事不忘、后事之師」という姿勢を若い世代に育むことができるよう努力を続けたいと思います。



写真2 ある日の学園生活



写真3 中国の格差問題



写真1 会話練習 你喝什么?